地震ハザードマップ

広陵町役場　電話：0745-55-1001

発行　広陵町

地震発生時の留意点

地震による被害を最小限にくい止めるためには、日頃の備えとともに、瞬時にどれだけ適切な行動がとれるかが重要なポイントとなります。

日頃から、巨大地震が発生したらどのような行動をとればよいのか家族で相談をするなど、事前の対策を検討しておきましょう。

また、近隣同士でお互いに助け合う関係づくりを心がけましょう。

心の備え 10か条

1 まず身の安全を!

ケガをしたら火の始末や避難が遅れてしまいます。家具の転倒や落下物には充分な対策を。

2 すばやく火の始末

揺れを感じたらすばやく行動。
火元付近には燃えやすいものを置かない習慣を。

3 戸を開けて出口の確保

振動でドアが開かなくなることも。戸を開けて避難口の確保を。

4 安全な服装

長袖、長ズボンなどの安全な服を着用し、建物のそばを避けて避難しましょう。

5 あわてて外に飛び出さない

飛び出しはケガのもと。冷静な判断を。

6 狭い路地やブロック塀には近づかない

ブロック塀や自動販売機は倒壊の恐れが。

7 協力しあって応急救護

地域ぐるみで協力しあって応急援護の体制を。

8 安全な避難路の確認

避難所までの経路(避難路)は、あらかじめ自分たち決めておき、安全に通行できるかを確認しておきましょう。

9 避難は徒歩で

マイカーでの避難は危険なうえ緊急出動の障害に。ルールを守る心のゆとりを。

10 正しい情報を聞く

事実はひとつ。間違った情報にまどわされず的確な行動を。

車中泊は、避難所に比べてプライバシーが保て暖かく過ごすことができますが、「エコノミー症候群」や換気のし忘れによる「一酸化炭素中毒」などの危険がありますので、車の中での避難生活は避けるようにしましょう。

安否情報の確認について

【災害伝言ダイヤル171】災害時のみ利用できるNTTのサービスです。
※サービスの開始はテレビやラジオなどで通知されます。毎月1日は体験利用ができます。

伝言の録音

171 → 1 → 被災し-た家の-電話番号 → 伝言を入れる(30秒以内)

ガイダンス(説明)がながれます。

被災者はご自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルする。

伝言の再生

171 → 2 → 被災し-た家の-電話番号 → 伝言を聞く

ガイダンス(説明)がながれます。

被災者はご自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルする。

※携帯電話でも「災害伝言サービス」を利用できます。使い方をあらかじめ確認しておきましょう。
※災害後、緊急を要さない電話は、なるべく控えるようにしましょう。

- ●災害時は、電話がかかりにくくなります。家族間の連絡は、電話ではなく別の手段を利用しましょう。
- ●公衆電話は、比較的つながりやすいので、近所の公衆電話の場所を確認しておきましょう。
- ●被災地にかけるより、遠隔地にかけた方がかかりやすいため、遠隔地の親戚に各自が連絡を入れて、情報を集約してもらうなどの手段も有効です。

お問合せ先　広陵町役場　総務部　安全安心課電話0745-55-1001 E-Mail : info@town.koryo.nara.jp

地震ハザードマップについて

地震ハザードマップは、広陵町内を50m×50mの区域に分け、それぞれの区域ごとに、予測される震度分布を試算し、建物倒壊の危険性を色分けしたものです。

また、避難所や防災拠点などの情報を表した地図で、災害時はもとより、日頃の防災対策用に活用しましょう。

地震ハザードマップとは

地震ハザードマップとは、地震の災害予測地図であり、危険な箇所や指定避難施設などを表示した地図のことです。

この「広陵町地震ハザードマップ」は、地震発生時に予想される震度を表した「ゆれやすさマップ」と、その揺れにより予想される建物の倒壊率を表した「地域の危険度マップ」、また地震に対する備えとして、住まいの耐震化や被害を防ぐポイントなどの情報も掲載しています。

私たちは、地震を防ぐことはできませんが、建築物の耐震化や家具の固定化など、予想される地震に対する事前の備えを行うことで、被害を少なくすることは可能です。

何よりも日頃の心がけが、自らの命や街を守る第一歩になります。「広陵町地震ハザードマップ」を、ご家族やご近所などで、地震に対する日頃の備えに幅広くご活用ください。

地震ハザードマップを利用して防災意識を高めよう

大きな地震が発生すると建物が倒壊したり、家具の下敷きになるなどの被害が生じます。また、道路や電気、ガス、水道などのライフラインの寸断、火災の発生など、被害が拡大する恐れがあります。

阪神・淡路大震災では、犠牲者の約8割以上が住宅などの倒壊による圧死といわれています。大きな地震から人命や財産を守るためには、住宅などの耐震化が特に必要です。

また、地震に備えるためには、地域で発生する恐れのある地震、建物被害などの可能性を充分に理解し、防災対策をしておくことが重要です。

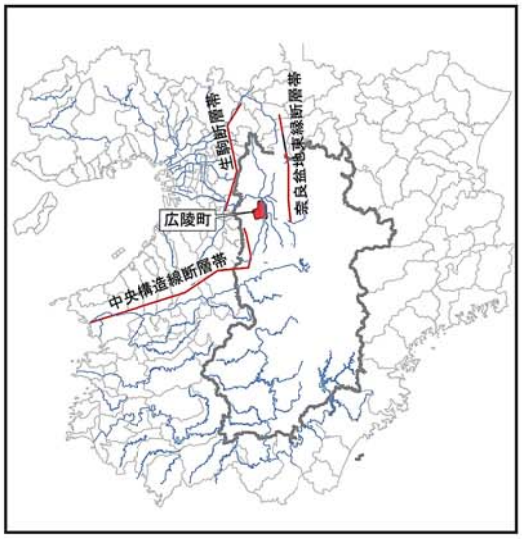
地震ハザードマップの内容

「広陵町地震ハザードマップ」は、広陵町への影響が大きく、発生率の高い地震（中央構造線断層帯、生駒断層帯、奈良盆地東縁断層、東南海・南海（同時発生））の4種類を想定するとともに、全国どこでも発生する可能性のある地震として、マグニチュード6.9の地震が本町直下で発生した場合を想定しました。

これら5つの地震予測結果の最大値を、50m×50mのメッシュ単位で計算し、それぞれメッシュごとに、建物の「倒壊の危険性」について表しています。

想定地震について

対象地震	断層長さ(km)	最大震度	想定マグニチュード
奈良盆地東縁断層帯	35	震度6強（6.5）	7.5
中央構造線断層帯	74	震度6強（6.5）	8.0
生駒断層帯	38	震度6強（6.5）	7.5
木津川断層帯	31	震度6強（6.1）	7.3
あやめ池撓曲－松尾山断層	20	震度6強（6.4）	7.0
大和川断層帯	22	震度6強（6.5）	7.1
千股断層	22	震度6強（6.3）	7.1
名張断層	18	震度6強（6.3）	6.9



5つの想定地震の最大震度を重ね合わせて「広陵町ゆれやすさマップ」を作成しました。

非常持出品・わが家の防災メモ

地震が発生した場合には、冷静かつ適切な行動が被害の大小を左右することがあります。

日頃から大地震が発生したらどういう行動を取ればよいのか家族で相談をしておくなど、事前の備えを検討するとともに、非常時の持出品などを準備し、あわてずに行動しましょう。

家の中の安全対策

1. 家の中の逃げ場所として安全な空間をつくっておきましょう。
2. 寝室や子ども・高齢者のいる部屋には転倒のおそれのある家具類などはできるだけ置かないようにしましょう。
3. 安全に避難できるよう、出入り口や通路にはものを置かないようにしましょう。
4. 火災の発生を防ぐために、防炎カーテンや壁紙を用いるようにしましょう。

非常持出品・非常備蓄品

家庭でも、災害に備えて日用品の備蓄に努めましょう。

非常持出品チェックリスト

- ○ 携帯用飲料水
- ○ 食品(カップめん、缶詰、ビスケット、チョコ レート)
- ○ 貴重品(預金通帳、印鑑、現金)
- ○ 救急用品
- ○ ヘルメット、防災ずきん
- ○ 軍　手　○ 懐中電灯
- ○ 衣　類(セーター、ジャンパー類)
- ○ 下　着
- ○ 毛　布
- ○ 携帯ラジオ・予備電池・携帯電話
- ○ マッチ、ろうそく(水にぬれないように ビニールでくるむ)
- ○ 使い捨てカイロ
- ○ ウェットティッシュ
- ○ 筆記用具

非常備蓄品チェックリスト(一人当たり)

- ○ 飲料水　9リットル(3リットル×3日分)
- ○ ご飯(アルファ米)　4～5食分
- ○ ビスケット　1～2箱
- ○ 板チョコ　2～3枚
- ○ 乾パン　1～2缶
- ○ 缶　詰　2～3缶
- ○ 下　着　2～3組
- ○ 衣　類　スウェット上下、セーター、フリースなど

＜赤ちゃんがいる家庭＞
ミルク、ほ乳びん、おむつ、おんぶひも、ミネラルウォーター、防寒着、帽子、衣類、バッグなど

＜高齢者や身体の不自由な方がおられる家庭＞
常備薬、看護補助具、おむつ、障害者手帳など

わが家の防災メモ

■ 家族の安否確認先

避　難　場　所	
集　合　場　所	
緊急連絡先（親類・知人等）	

家族の連絡先	名　前	生年月日	血液型	会社・学校の住所	電話番号

■ 緊急通報先【市外局番:0745】

事件・事故など	１１０番	
	香芝警察署	71－0110
火災・救急など	１１９番	
	奈良県広域消防組合広陵消防署	55－4123
	災害拠点病院（大和高田市立病院）	53－2901
水道の不具合	広陵町役場　上下水道部	55－2234
電気の不具合	関西電力（株）高田営業所	53－1131
ガスの不具合	大阪ガス（株）北東部リビング営業部	0120－5－94817